

酒々井町郷土研究会々報

第71号

平成6年1月1日発行

酒々井町郷土研究会 編集部

新年のおまろごびをゆーげます

平成六年元旦

仏像考

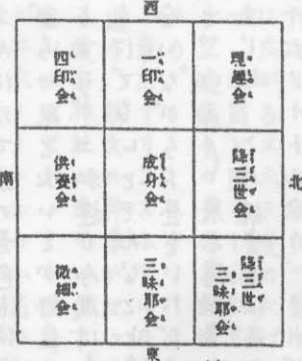
青木朝次

郷土研究会のお楽しみ目玉行事に見学会があります。この見学会は郷土の研究という会の性質上、どうしても神社仏閣を訪れる機会が多くなりますが、仏像を見て真つ黒だった、大きな仏像があったというだけでは郷土研究会員として一寸さみしい気がします。そこで数回紙面を借りて、仏像を紹介しにしたいと思います。

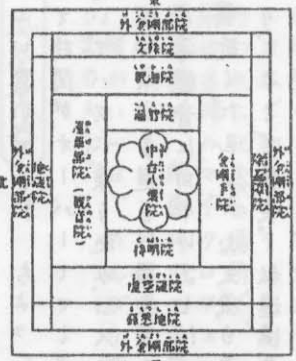
先ず、仏像はいかにして生まれたか、ですが、仏教と言う教えは、紀元前五世紀にはじまり、仏像が造られ始めには七百年後の紀元二世紀頃からだそうです。この間、釈迦の遺骨を納めた塔を信仰の拠り所としていま



いて描かれたもので十二に区分されています。



金剛界曼荼羅の配置図 (第1図)



胎藏界曼荼羅の配置図 (第2図)

したが、数百年後釈迦の教えに従う弟子達によって釈迦如来像が造られました。其処は今のパキスタンのガンダーラ地方ですが、次第に南下して印度で盛んになりました。種々の願意になう仏像は、三十二相八十種好に及び、じつに多種多様なものが出現しました。仏像の基本となるのは金剛界と胎藏界の曼荼羅(簡単にいえば仏像の図録)です。

金剛界曼荼羅(第1図)
 図を九つに区切り、上段の中央が一印会、本尊が祀られています。其の右が理身会、左が四印会、中段の中央が成身会、右が降三世会、左が供養会、下段の中央が三昧耶会、右が降三世三昧耶会、左が微細会に分かれ、本尊大日如来の分身達で、仏の数は一四六一体あります。

胎藏界曼荼羅(第2図)
 大日経という密教經典に基づ

中央が中台八葉院で九尊、その上が通智院で七尊、右の第一重が金剛手院で三十三尊、左の第一重が観音院で三十三尊、下方の第一重が持明院で五尊、上方の第二重が釈迦院で三十九尊、上方第三重の文珠院に二十五尊、右の第二重の除蓋障院に九尊、左の第二重の地藏院に九尊、下方第二重の虚空藏院に二十八尊、第三重の蘇悉地院に八尊とこれら全部の院を囲む外金剛部院には二百五十体の雜尊があり、合計四百五十九尊と実に多くの仏像が祀られています。

専門家でも解説に苦しむこの面



(第3図)

曼荼羅については、一般の人はこういうものが信仰の根拠にあるのだと思っただけで結構です。

仏像(第3図)
 さて始めに釈迦如来像が造られ、その後多種多様の仏像が出現しましたが、その姿は第3図の通りで、侍像、坐像、立像、臥像等があります。仏像の素材は木材(松、杉、樺、香木その他)、金属(銅、金銅、鉄等)、石、粘土(朝造で金箔や彩色をする乾漆、埴(凹形の仏像型で粘土の仏像を造り、焼いて金箔や彩色をする)、象牙等と色々ですが、最も多いのが木像で、これには一木造りと寄木造りがあります。金属像は鍛造、銅板の押出法、毛彫等で大きさも大仏(奈良、鎌倉等のような超大仏)、丈六仏(四・八五米)、半丈六仏(二・四三米)、等身大、半等身、一尺八寸から

一寸八分と言う超小型の携帯仏
まで多様にあります。(以下次
号につづく)

大谷観音を訪ねて

杉坂 一

「郷土研の見学会は個人では
見られない所も見ることができ
る」と会田会長が申されたが全
くその通りであると私は思いま
した。今回の旅行で私はとくに
強く思いました。

大谷石の採掘場跡のその広大
さに、数世紀前からの人間の執
念の結果を見る思いがしました。
また資料館の七千年前の人骨には
特に興味をもちました。これは
我々の先祖であるとしたら随分小
型であったわけですが、年齢約二十
歳、身長は換算すると五尺一寸。
昔、徴兵時代には五尺二寸無い
と落着点であり、私は五尺五寸五
分あったので二年間絞られました。
いやな時代でした。

人類の発生は謎でしょうが下
等動物から進化した事は間違え
ないと思えます。が、それは学
者が研究する事で、我々は禁断
の宴を食べてエデンの園から追
い出されたアダムとイブが祖先
であると思う方が楽しいことで
す。ただアダムとイブを騙した

蛇の化身が今の世の中に多いが
ら困ります。

今回は晴天に恵まれ紅葉の美
しさを見る事ができました。
春の桜より色とりどりの紅葉は
違った趣きがあります。小学唱
歌の名曲「もみじ」の通り「福
模様であり織る錦」です。古峯
園は広く美しい庭園
でしたが、時間の都合で全部見られず残
念でした。

こうして私達は愉
快な時を過ごして来
ました。その反面、
役員の陰の御苦労に
感謝せねばなりません。
ん。あり
がとうござ
いませ



かんで一体みんのように
くんでもつきないがつつきます。
よもやまはなしがどうぞあなたもお仲間

市原・佐貫・大貫方面

見学会に参加して

藤澤 順子

十月四日、今にも雨が降って
きそうな気配。傘を持って八時
半バスに乗り込みいよいよ出発
です。バスの中は皆さん和気藹

蕨のムード、祭しいおしゃべり
が続くなか真つ直ぐ市原の西願
寺へ着きました。茅ぶきの素朴
なたたづまいのお寺に着き、故
郷の景色に触れた思いに心がホ
ット和みました。国の重要文化
財に指定されているそうですが
この様な素朴で静かな場所がビ
ツタリ合っている様なそんな感
じでした。

次は同じ市原市にある匠光寺、
淡井長政の位牌が見られたこ
とで一躍有名になったお寺だそ
うです。任職さんのお話を聞き
ながら私は学生時代を思い出
しました。歴史の先生の講義を聞
いている感じでした。何かしら懐
かしい思いでした。ちよつとこ
こで時間がオーバーしてしま
い急いでバスに乗り込み、コスモス
の咲いている道を一路佐貫町の
東京湾観音に向かいました。

昼近くだん／＼お天気も良く
なり、ここで昼食。私達は食堂
でいただきましたがお弁当持参
の方々は外で秋の景色を満喫し
ながら一段とおいしかつたこと
でしょう。「私達も今度はおに
ぎりにでも」とそんなことを話
し合いながらお昼をいただきました。
さて、いよいよ東京湾観音に上
りました。この観音像は高さが
五十六メートル余り、それが海
抜百二十メートルの大坪山の頂
上に建っているのですから素晴

しいものです。東京の宇佐美さ
んという方が戦没者慰霊のため
一億円の私財を投じて造られた
そうです。螺旋階段を上って行
くと東京湾が一望、三浦半島ま
で見えて本当に気持が洗われる
思いでした。

最後は大貫町の弁天山古墳に
着きました。大変珍しい石棺が
そのまま保存されておりました。
こんな身近な所にも様々な歴史
があることにまづ第一に自分が
住んでいる千葉県を知るとい
うことが本当に大切な事だと思
いました。武藤さんが持参して下
さったおいしいコーヒをいた
だきながら帰路に着きました。
いつも会長さんはじめ役員の方
の皆様方の御好意に甘えて、のん
びりと御一緒させていたくださ
りです。誠に感謝の思いながら
も楽しい有意義な一日でした。
又御一緒出来る日を楽しみに



東京湾観音

見学案内

県内見学会 3/8(火) 3/9(水)

◎成東方面

九十九里七福神めぐりと伊藤左千夫誕生の地と浪切不動尊を訪ねます。時節外れの七福神巡りです。平成六年度の会の益々の発展と会員の無病息災・家内安全と福を呼ぶ祈願をしましょう。九十九里七福神は全て天台宗のお寺に祀られています。
●毘沙門天(観音堂・光明寺別当)
●鑑・かぶとに身を固め、武器を携えた姿で財宝米福の多宝塔を持つ。インド出身の神様で仏教の四天王の一員。
●寿老人(光明寺) 成東町喜田杖を持ち、鹿を従えた白鬚の老人の姿。老人星の化身で、手に持った杖には人の寿命を記した巻物が結び付けられている。中国出身で安全と健康・長寿の神様。
●大黒天(日蔵寺) 成東町早船大きな袋を背負い、小槌を持ち、米俵に乗る姿でインド出身の仏法の守護神。商売繁昌・除災・大願成就の利益あり。
●福祿寿(宝積寺) 成東市大堤短身・長頭白鬚童顔の姿で、南極星の化身で中国出身。幸福と縁(高給)と長寿の三つの福を授ける神様。
●布袋尊(真光寺) 成東町借毛大きな腹・団扇を手にした姿の中国出身の禪僧で、七福神中唯一の實在した人物(神)で知恵を授け、福徳と円満な生

活を司どる神様。
●弁才天(海蔵寺) 成東町木戸七福神中唯一の女性の神様で、琵琶を奏でる姿をしている。インド出身の水の神様であることから五穀豊穡・弁舌や音楽・芸能・文字・知恵の神で、蛇が神の使いである。
●恵比寿(慈光寺) 成東町小松烏帽子をかぶり、釣竿を持つ。右手に釣竿、左手に鯛を持つ。岩の上に腰掛けに姿の日本古来の神様。海の守護・商売繁昌・庶民救済の神として崇められている。漁師 航海の神様。
以上七福神を一枚の御朱印紙にできます。
●伊藤左千夫誕生の地 庭に左千夫が唯真閣と呼んで愛好した茶室がある。
●浪切不動尊 弘法大師の関山と伝えられ、境内には大師の硯石や袈裟懸けの巖といった奇岩がある。またこれらの岩は成東石と呼ばれ、高台に広がる森は、石塚の森と呼ばれ、果指定の天念記念物である。

◎名勝探訪

3/8(雨) 3/9(雨)

◎東京タワー方面

都営浅草線大門駅を降り、参道の突き当りの壮大な三解脱門をくぐると、広い境内の正面に増上寺大殿の大伽藍が堂々の構えで横にわっています。増上寺は上野寛永寺と並ぶ徳川家の菩提寺で江戸屈指の大寺院です。背後には、東京のシンボル東京タワーがそびえ立っています。高さ二五〇メートルの特別展望台までエレベーターで一息、眼下に広がる三六〇度の大パノラマ。地図を照らし合わせながら望遠鏡をのぞくといいでしょう。

◎総会案内

平成六年の総会が、一月三十日(日)午後一時三十分より、中央公民館講堂において開催されます。会員の皆様におかれましては何かとお忙しいかと存じますが、ご出席下さいませ。ようお願ひ申し上げます。
ついては、平成六年度の会費の納入も受け付けておりますので、総会に欠席の方は最寄りの役員なり、ご近隣の方に依頼下さいませ。様お願ひ申し上げます。

◎会計報告

10/4.10/5 市原方面 参加者 51名
収入 1000 x 51 = 51,000
支出 51,000
西原院寺(2日分) 4,000
匡光寺() 6,000
ドライブ一年当り 6,000
駐車料金 1,000
拝観料(兼巻綴) 23,500
コピー代 500
バス使用料 20,600
10,600円郷土研より補足する。
10/4 鹿沼・宇都宮方面 参加者 43名
収入 6,700 x 43 = 288,100
支出 288,100
八軒観音バウ代外 249,740
お礼 12,000
大谷観音拝観料 11,180
返金 400 x 43 17,200
20円郷土研より補足する。

Table with columns: 月日, 内容, 参加者数. Rows include 10/4 県内見学会, 10/5 市原方面, 10/9 史談会, 11/4 県外見学会, 11/13 史談会, 12/3 運営委員会, 12/7 名勝探訪, 12/11 史談会, 12/21 会報校正, 12/27 会報発送.

郷土研行事業内

平成6年1月~3月

	1月	2月	3月
史談会	休ミ	12日(土) 午後1時30分 「酒々井町の石仏と文化財」 (伊藤新田地区) 中央公民館 会議室	12日(土) 午後1時30分 「酒々井町の石仏と文化財」 (伊藤地区) 中央公民館 会議室
名勝探訪 野草の会	17日(月) 雨天代替 20日(木) 京成酒々井駅集合 8:25 名勝探訪・羽田、川崎大師 京成酒々井駅 → 大門 → 羽田(見学) 鶴羽田空港駅 → 京急蒲田 → 京急 川崎 → 川崎大師(参拝) → 京急 川崎 → 品川 → 泉岳寺 → 京成 酒々井 ※都合により路線を変更する場合も ありますので了解下さい。 (雨天代替日にご注意下さい)	24日(木) 11:30 受付 12:00 会食 七草粥を食べる会 会費 600円 申込受付 1月30日(日) 締め当日 受付場所 会議室 (12:30迄) 受付定員 80名 ※お手伝いいただける方は 9:00に調理室に来て下さい。	18日(金) 雨天代替 25日(金) 京成酒々井駅集合 8:25 名勝探訪・東京タワー方面 京成酒々井駅 → 大門 → 上 増上寺 → 東京タワー → 愛宕 神社 → NHK放送博物館 → 神谷町駅 → 上野 → 京成 酒々井駅 (雨天代替日にご注意下さい) ※都合により最寄り駅の変更する 場合もありますので了解下さい。
県内 見学会	3月8日(火) A班 3月9日(水) B班 申込受付 7月30日(日) 午後12時30分 受付場所 中央公民館 会議室 (締め当日) 定員 各班 33名 費用 700円 (自由昼食) キャンセル 実施日3日前まで 会田秀雄迄 まで連絡下さい。	九十九里七福神めぐり (出発8:30 公民館) (コース) 酒々井町中央公民館 → 成東町 → 昆沙門天 → 海老人 → 大黒天 → 福祿寿 → 布袋尊 → 弁才天 → 恵比寿 → 伊藤左千夫記念館 → 浪切不動尊 → 酒々井町中央公民館	
総会	1月30日(日) 午後12時30分から受付 場所 中央公民館 講堂 年会費受付 年1000円 (平成6年1月~12月) 受付場所 会議室 (当日ロビーでは受付しません) ※ 新入会及び脱会の方は受け付けます のでお申し出下さい。	午後1時30分開会 議題 (1) 平成5年度事業報告及び決算の承認について (2) 平成6年度事業計画案及び予算案について (3) その他	

川崎大師の名で親しまれて
いる金剛山金乗院(平間
寺)は尊賢師によって開山され
ました。本尊の大師像は源
義家の臣平間兼豊、兼素
の父子によって、この地の海
中より引き上げられ、その時
兼素が四十二歳の厄年だっ
たので厄除け霊験あらたか
といわれています。名物とし
ては、ちまみ餅、咳止め餅
などがあります。

今年も郷土研究会では史談会、
名勝探訪、県内外見学会等の
行事がありますが、特に、今年
の史談会は酒々井町の石仏
と文化財について、地区毎
に調べていききたいと思いま
す。皆様よろしくお願
いします。

昭和六年に国営飛行場
として飛足した羽田空港は、
第二次世界大戦後アメリカ軍
に接収されましたが、昭和
二十七年七月に返還され東
京国際空港になりました。
大門駅で下車し、モノレ
ールに乗りかえて、平成五
年九月二十七日に大坂張と
ともに使用開始されたに東
京国際空港西旅客ターミナ
ルに着きます。飛行機の発
着を見ながら自由昼食をし
ましょう。

五月から三回にわたり「お
香をきく会」が催されまし
たが、多数の方々の参加と
ともに久しぶりに相京晴次
さんがお元気な姿を見せて下
さいました。

◎ 羽田空港・川崎大師
1/17(月) 雨天代替 1/20(木)

あとかき
明けておめでどう
ございませう。
去年は天候不順の影響で
米作の作況指数は戦後二番
目の低さとのことで不足分
が輸入される現状、食卓
にも外米が上るのでし
よう。

見学案内


◎ 名勝探訪

1/17(月) 雨天代替 1/20(木)

昭和六年に国営飛行場として飛足した羽田空港は、第二次世界大戦後アメリカ軍に接収されましたが、昭和二十七年七月に返還され東京国際空港になりました。

大門駅で下車し、モノレールに乗りかえて、平成五年九月二十七日に大坂張とともに使用開始されたに東京国際空港西旅客ターミナルに着きます。飛行機の発着を見ながら自由昼食をしましょう。

今年もよろしくおねがいします



少し遅い初詣になりすが皆さんで健康と幸せと郷土研究会の益々の発展をお祈りして事始めいたします。